

平成23年度 第1回東成区区政會議会議録

1. 日時：平成23年8月31日午後1時から午後3時30分

2. 場所：東成区民ホール 大ホール

3. 出席者

(委員) 市田委員、上田委員、大垣委員、大西委員、岡倉委員、
岡本(秀)委員、岡本(美)委員、小川委員、桑田委員、
篠崎委員、清水委員、西野委員、深江委員、松下委員、宮田委員
(区役所) 清野区長、西村総合企画担当課長、與那市民協働課長、
谷口窓口サービス担当課長、木谷保健福祉課長、
大西生活支援担当課長、瀧谷福祉担当課長、
中川市民協働課長代理、吉田地域支援連携担当課長代理、
岡水平連携担当課長代理、上谷保険年金担当課長代理

4. 議題

- (1) 委員長選出
- (2) 東成区の防災について

5. 議事

○西村課長

まだ一人委員の方おみえになっておりませんが、時間となりましたので始めさせていただきます。

皆さん、本日はお忙しい中、またお暑い中を、東成区区政會議にご出席賜りまして、誠にありがとうございます。ただいまから平成23年度第1回東成区区政會議を開催いたします。私は東成区役所総務課の西村でございます。どうぞよろしくお願ひいたします。

区政會議は、この後選出いただきます委員長に進行していくこととなっておりますが、委員長の選任までの間は私のほうで進行させていただきます。

初めにお断り申し上げます。区政會議は会議の趣旨にのっとり、すべて公開とさせていただいておりますので、ご了承いただきますようにお願いいたします。

また、委員及び傍聴人等、この場にいらっしゃる方々全員にお願いがございます。区役所としましても、記録を残しておくために広報担当者を決めております。会議中の撮影につきましては、ご了解をいただきたいと思います。

また、本日の会議内容は後日公開する必要があることから、録音をさせていただいております。合わせてご了解いただきますようにお願いいたします。

会場にいらっしゃる皆様にお願いいたします。携帯電話は電源をお切りいただき、マナー モードにしていただき、この部屋の中での通話はご遠慮くださいますようにお

願いいたします。

最後に、傍聴の方々にお願いいたします。私語をご遠慮いただきますとともに、やじ等、議事の妨げになるような行為はご遠慮いただきますようお願い申し上げます。区役所が議事の妨げになると判断しました場合には、ご退席願うこととなりますので、あらかじめお断りさせていただきます。

それでは、開会に当たりまして、区長からご挨拶を申し上げます。

○清野区長

皆さん、こんにちは。今日は本当にお昼お忙しい時間、どうもありがとうございます。区政会議の第1回目ということですので、ちょっと長くなりますが、私のほうから概略、お願いを申し上げまして、あとお話を進めていっていただきたいと思います。

区政会議につきましては、ルネッサンス2011ということで、平松のほうが今年の3月に発表いたしました市政改革の新しい方針の一環として、区政の運営を区民の皆様と一緒に進めてまいる。そのための仕組みの一つとして発表させていただいてます。基本的な枠組みというのは、やはり24区ばらばらでは困りますけれども、私個人としては、区役所、あるいは区長が区民の皆さんにこういう会議をお願いしますので、24通りあってもいいと思ってます。ですから、最初こういう形で開始をさせていただきますけれども、皆さんからのご意見をいただきながら、こういう形に変えていこうというのほどんと進めていきたいと思っています。

言い訳ではなく最初に申し上げるんですけども、いわゆる区役所からお願ひする以外の皆さん、公募という形で委員を募集されておられる区がたくさんありました。後ほども申し上げますけれども、当面この会議自身は、ご参加いただいた皆さんに少なくとも一言はしゃべって帰っていただこうと、皆さんのご意見をたくさんいただこうという目的で進めたいと思ってますので、最初選ぶときに、区民モニター、これは2年前から皆さんにお願いしているんですけども、区政について、いろいろと4回にわたって1年間意見をいただけた皆さんであれば、区政のことをほかの皆さんよりはよくご存じだろうし、公募で入っていただいた方もいらっしゃいます。いろんなことをおしゃべりいただくのに、そういう方に最初にお願いしていただいたほうがいいだろうということで、今日はお願ひをいたしております。公募の委員さんについても、今後皆さんのご意見をいただきながら、どんどん広めていきたいとは思いますけれども、今年の東成区の区政会議はこういう形で実施したいと思ってますので、ご了承のほどよろしくお願ひをいたします

区政会議そのもの、最終的には、例えば区役所が来年どういう予算を組んでいったらいいのか。あるいは今やってきた事業がどうであったのかというようなことも、いろいろとご意見をいただく会議になりますけれども、当面今日初めてこういう形でお

集まりいただいている。

先ほど申し上げたみたいに、目標はお一人一言ずつは最低しゃべって帰っていただこうということですので、最初の議題については、皆さん的一番身近な議題が一番いいだらうということで、防災にさせていただきました。

ちょっと象徴的だなと思いますんですが、3月10日に大阪市の防災の基本計画見直しまして、区の計画を見直しなさいということで、やっとでき上がりましたので、地域振興会、赤十字奉仕団の方の力もいただいて、防災マップというのを、区内版をつくらせていただいて、配ったのが3月10日で、ちょうどこの会場で会議を開いた翌日、東日本大震災がございました。それ以降のことは皆さんもよくご存じだとは思うんですが、そういったこともあって、防災フォーラムというのを全市で、中学校、なかなか顔が今まで見えていないというか、役所のほうが中学生の皆さんとなかなかつながっていないんじやないかという話がありまして、中学校を会場にということで、東成の場合は四つの中学校と片江小学校と、五つの会場で防災フォーラムというのをさせていただきました。

その結果を、十分ではありませんけれども、今回取りまとめたものを、今日報告をさせていただいて、それについて今後どう、区役所としてまずすぐにこういうことができないかという意見ですとか、長い目で見たときに、こういうこともすべきであろうというようなご意見をいただければと思っています。

また、象徴的なんですけれども、いろいろ区の事業にご意見をいただくというのがこの会議の目的ですので、先週の土曜に東成区のほうで事業仕分け、これ大阪市全体の事業で、事業仕分けを行いまして、きょうご出席の皆さんの中からいわゆる仕分け役になっていただいた方、あるいは区民判定人ということでご参加いただいた方、多数いらっしゃいました。それをしますと、まだ会議が終わる前に突然大雨が降りまして、区内、今わかっている段階では、床上を含めて四百数十棟、被害を受けておられます。今日が防災について話し合う区政会議の第1回目ということで、何か象徴的な気がするんですけども、今日、偶然ではなく、皆さんからのご意見をいただいて、水害についてというのが重要な議題になってますので、そういった意味でも今回の話をさせていただければというふうに思っています。

長々となりましたけれども、当面皆さんに、本当に皆さんに、日ごろ感じておられるをお聞きするような議題ができれば、区役所のほうから声かけをさせていただいて、ご協議いただきながら、将来的にはもう区政全般にわたって、これは区役所がやっている仕事だけではなくて、大阪市のかの局や区などでやっている仕事も含めて、ご意見をどんどんいただきたいとは思いますけれど、当面私自身がそういうことからお願いをしたいと思ってますので、どうぞよろしくお願ひいたします。

しつこいですが、皆さん必ず一言ずつはしゃべって帰っていただきますようお願い

申し上げまして、私のほうからのごあいさつにかえさせていただきます。

本日はどうぞよろしくお願ひいたします。

○西村課長

区長、ありがとうございました。

区長のほうからも区政会議の概要について今お話がございましたが、私のほうから少し事務的な説明を加えさせていただきます。

区政会議は区の運営方針や、区の決算、予算、それから区において実施される事務事業についてご意見をいただきまして、区政を評価していただくような場でございます。この場では、何かを決定するというような場ではございません。この場でいただきましたご意見は、今後の区政運営の参考にさせていただくとともに、可能なものにつきましては、関係部署とも調整いたしまして、課題解決を図らせていただきます。また、来年度の予算編成にも反映させるように努めさせていただきます。

また、本日出席の皆様の多くはさまざまな団体の長をなさっておられることと存じますが、この場では出身母体の団体や地域のことだけではなくて、東成区の地域全体、全世帯のことをお考えいただきご意見をいただければ、大変有意義な会議になるかと存じます。どうぞよろしくお願ひいたします。

それではここでご出席いただいている委員の皆様を名簿順にご紹介させていただきます。資料の1のほうに基づいて紹介させていただきます。

あいうえお順でいきます。東成区地域女性団体協議会会长、市田様でございます。

○市田委員

遅れまして申しわけございません。市田です。どうぞよろしくお願ひいたします。

○西村課長

東成区民生委員協議会会长、上田様でございます。

○上田委員

上田でございます。どうぞよろしく。

○西村課長

よろしくお願ひします。

東成区母子会会长、大垣様でございます。

○大垣委員

大垣です。よろしくお願ひいたします。

○西村課長

区民モニターの委員でございます。大西様でございます。

○大西委員

大西でございます。よろしくお願ひいたします。

○西村課長

東成区保護司会会长、岡倉様でございます。

○岡倉委員

岡倉です。よろしくお願ひいたします。

○西村課長

東成区未来わがまち推進会議世話人代表、岡本様でございます。

○岡本（秀）委員

岡本秀男です。どうぞよろしくお願ひします。

○西村課長

同じく東成区未来わがまち推進会議世話人副代表、岡本様でございます。

○岡本（美）委員

岡本です。どうぞよろしくお願ひいたします。

○西村課長

東成区社会福祉協議会副会長、東成区地域振興会副会長、小川様でございます。

○小川委員

小川です。どうかよろしく。

○西村課長

上小牧様につきましては、本日ご欠席ということでございます。

東成工業会会长、桑田様でございます。

○桑田委員

桑田です。どうぞよろしく。

○西村課長

区民モニター委員、篠崎様でございます。

○篠崎委員

篠崎です。よろしくお願ひします。

○西村課長

東成区社会福祉協議会会长、東成区地域振興会会长、清水様でございます。

○清水委員

清水です。

○西村課長

東成区青少年3団体連絡協議会会长、西野様でございます。

○西野委員

西野でございます。どうぞよろしくお願ひします。

○西村課長

次の濱田様については、本日ご欠席でございます。

東成区医師会会长、深江様でございます。

○深江委員

深江です。よろしくお願ひします。

○西村課長

すみません、座席がちょっと逆になって申しわけございません。

区民モニター委員、松下様でございます。

○松下委員

松下です。よろしくお願ひいたします。

○西村課長

東成区未来わがまち推進会議世話人副代表、宮田様でございます。

○宮田委員

宮田です。よろしくお願ひします。

○西村課長

最後に米谷様でございます。米谷様は本日ご欠席でございます。

委員の皆様の任期は、おおむね2年間となっております。今後ともどうぞよろしくお願ひ申し上げます。

続きまして、事前にお配りさせていただいております本日の資料を確認させていただきます。もう既にお読みいただいておりますので、多分ばらばらになっていると思いますので、順番に確認をいただきたいと思います。

まず最初に会議次第でございます。

もしきょうお手元にございませんでしたら、言っていただきましたらすぐに事務の者が持ってまいりますので、お願ひいたします。

それから本日の座席表でございます。ちょっとプロジェクターの位置関係とかありますて、若干座席順変わっておりまして、申しわけございません。

それから、今紹介させていただきました東成区区政会議委員名簿でございます。資料1とさせていただいております。

それから資料2といたしまして、区における総合行政の推進に関する規則というのがございます。少しだけ、この規則について説明させていただきます。今回開催しております区政会議の開催の根拠になる規則として、大阪市で定めたものでございまして、太文字で書いておりますところが、今回の会議に關係の深いところでございます。

それから資料3といたしまして、東成区区政会議開催要領でございます。この区政会議、東成区で行います区政会議の開催に関するることをこちらのほうで決めております。第2条で委員のことにつきまして、また第3条で部会について定めさせていただいております。また後ほどご参照ください。

それから資料4でございます。東成区区政会議の傍聴要領でございます。冒頭のほうでも説明いたしました傍聴者の方の守るべき事項といたしまして書かせていただき

ました。そういうものでございます。

それから資料5としまして、本日ご議論いただきます東成区の防災についてというパワーポイントの資料をつけさせていただいております。

それから資料6といたしまして、先週の土曜日に開催いたしました事業仕分けの判定結果をつけさせていただいております。

その後、東成区の運営方針概要版ということで、表に様式1とか書いてますA3の大きな紙でございます。それから運営方針の内容説明として新聞資料等の説明をつけさせていただいております。ちょっと分厚目の用紙でございます。ご確認いただけますか。

それから未来わがまちフォーラムのパンフレットがついているかと思います。

最後に参考資料といたしまして、なにわルネッサンス2011という題目のつきましたA3の紙をつけさせていただいております。

そのほか防災マニュアル等大阪市で作成いたしましたリーフレット等をつけさせていただいておりますが、不足とかございませんでしょうか。もし足らない分がございましたらお手を挙げてお示しください。大丈夫ですか。

それではここで議事の1として、委員長の選出に移りたいと思います。

先ほどお配りしました資料3の区における総合行政の推進に関する規則というところで、12条の4の項目に書かせていただいておりますように、委員長は互選によって選出するということになっております。この区政会議の委員として、どなたか立候補、またはご推薦はございますでしょうか。

(「清水さん」と言う者あり)

今清水さんというお声が上がりましたが、ほかにございますでしょうか。

(「異議なし」と言う者あり)

ないようでございますが、清水委員、いかがでございましょうか。よろしゅうございますか。それではお声ありましたので、東成区の地域振興会長の清水委員に委員長をお願いするということで、ご了解いただけますでしょうか。拍手でもう一度再確認お願いいいたします。

(拍手)

ありがとうございます。それでは清水委員、委員長席へお願いいいたします。

それでは早速ではございますが、清水委員長のほうから委員長就任に当たりまして、一言ごあいさつをお願いしたいと思います。いきなり申しわけございません。よろしくお願いいいたします。

○清水委員長

今ただいま、委員の方々からご推举いただきまして、本当にありがとうございます。もう私、ほんまに身の引き締まる思いでございます。委員長といたしましては、会議

に際しまして、公正な立場でやっていきたいと思いますので、一つ皆様方のご協力を切にお願いを申し上げたいと思います。

なお、これちょっと今日の議題は、一応東成区における防災の取り組みについてということでございますけども、その前に、この今先ほどに規約ございましたね。その12条の6項に区政会議の長に事故あるときは、あらかじめ区政会議の長の指名する委員がその職の代行に当たるということになってございます。それで、恐れ入りますが、私のほうから職務代行者を指名させていただきたいと思いますので、一つご承認のほどをお願いいたしたいと。委員の中の濱田委員に職務代行をお願いするということにいたしますので、一つご了承願いたいと思います。

それでは早速でございますけれども、東成区における防災の取り組みについてと、本日の議題はこの1点でございます。先ほど区長から一言ずつ皆さんからご意見を出していただきたいという話がございましたけれども、一応今日の議題は先ほどから2回ほど言うてますように、東成区における防災の取り組みについてということでございますので、ひとつその件のみについて、質疑、応答をいたしたいと思います。それではこの説明は誰がやるんですか。

○與那課長

冒頭、私が少しあいさつさせていただいて。

○清水委員長

えらいすみませんが、よろしくお願いいいたします。

○與那課長

それでは本日区政会議の議題の大きな問題である、“東成区の防災について”説明いたします。区政会議の趣旨、目的等につきましては、先ほど来区長、司会のほうからも述べられておりますので重ねて申し上げることはしません。

3月11日に東日本大震災により、未曾有の災害が発生いたしまして、その災害を踏まえまして、いかに地域でのきずな、地域コミュニティの大切さ、重要性というのを再認識をしていたところでございます。自分たちのまちを自分たちでやっぱり守っていく、そして3月11日に改めて気づいたのは、やはり若い力が、まちの復興に際しましては、非常に重要なポイントになってくるのかなというふうに感じております。

そういう意味で6月に地域防災フォーラムということで、4中学校プラス1小学校の5カ所で開催をしてまいりました。この間の取り組みに際しまして、各連長、災害救助部長さん等と十分な打ち合わせをさせていただいた上で実施をしてまいりました。その中でそれぞれの会場でそれぞれの課題、議論、こういったものを活発に語つていただき、非常に有意義な防災フォーラムであったのかなというふうに思っております。ただ、防災フォーラムをフォーラムだけで終わらせるてしまうのは不本意なことだと思っておりますし、いざというときもやっぱり体制というものが大事であり、有

事のときに役立つような、実践を踏まえた内容にしていく必要があろうかと思っております。

東成区につきましては、位置的な問題で申し上げますと、いわゆる津波というふうな被害につきましては、直接的にはないのかなというふうには感じております。ただ、上町大地に位置するところというようなこともありますて、その上町大地の直下型の震災が起これば被害甚大になるのかなと。それとやはり大和川なり平野川、こういった河川の氾濫、こういったものがもし発生しますと水害という形で非常に甚大な被害につながっていこうかと思っております。

津波といいますのは、その浸水被害、その延長線上にあるものだというふうに我々行政としても位置づけをしておりますし、認識をしておりますので、防災フォーラムを開催することによって新たな課題も見つかってきております。

8月の27日、事業仕分けがあった当日夕方なんですけれども、大雨がございました。大雨が発生して区内で浸水が発生してきているというふうな実態、区の職員と地域の赤十字奉仕団、地域振興会を中心として初期初動すぐ動いていただきまして、被害の状況把握、そして事後の消毒なり、そういった対応、できる限りのことをさせていただきましたけれども、いずれにしましても、災害が発生したときにはやはり地域、赤十字奉仕団の初期の初動、こういったものが本当に一番重要であり、行政的にも当然対応してまいりんすけれども、いち早く対応できるのはやっぱり地域の方々ということもございますので、協働という形も含めまして、区と地域と関係機関とすべて一体となってできる限りの連携、こういったものを速やかにやることにより、地域での災害復旧ということに努めてまいりたいというふうに考えております。

今後とも災害に関しましては、皆様方のご理解とご協力を、切にお願いを申し上げまして、私のほうからの冒頭のあいさつにかえさせていただきます。

具体的にこの間の防災フォーラム、いろいろお世話になったんですけれども、その辺の状況、結果報告ということで報告をさせていただきまして、その後皆様方から貴重なご意見等をいただきながら、今後の防災対策に活かしてまいりたいというふうに考えておりますので、活発なご意見をちょうだいすることを心からお願いをいたします。ありがとうございました。

○吉田防災担当

皆さん、こんにちは。市民協働課の吉田と申します。それでは私のほうから東成区の防災についてご説明をいたします。

まずは、先だっての地域防災フォーラムでいただいたご意見などをご紹介をいたしまして、その後東成区での防災の取り組みをご説明するという段取りにしたいと思います。合わせて8月27日の大雨に伴う浸水被害についても少し触れておきたいなというふうに思っております。

お手元の資料の2ページをお願いします。大阪市では本年3月に発生した東日本大震災を契機として。

○清水委員長

ちょっとそれ見にくいくらいやう、それ。

○吉田防災担当

ちょっと見にくいでですか。

○清水委員長

こっちの人が。

○吉田防災担当

申しわけございません。お手元のほうに、パワーポイントのほうの資料がございますので、ちょっとこちらのほうに、カラーになってるだけの違いですので、申しわけございません。お手元の資料を参考にしながら見ていただくとありがたいのでよろしくお願いします。

続けます。東成区では被災地域で派遣された職員からの報告を中心に4中学校、1小学校におきまして、地域の皆様のご協力をいただきながら、各会場でバリエーションに富んだフォーラムを開催できました。5回の開催で600人を超える地域の方々の参加を得ました。特に片江小学校のほうでは70人の小学生が参加してくれるなど関心の高さを感じるとともに、これから地域防災における課題が見えてきたフォーラムになったと思っております。

次の3ページでございます。参加者アンケートによりますと、60歳代以上の参加者が男女平均70%を超えておりました。ここでも高齢化が顕著にあらわれていることがわかります。区や地域での防災の取り組みにつきまして、認知度や参加経験、あるいは参加意欲というものを尋ねてみたところ、非常に高い関心を持っていただいておりました。防災意識の高さ故の結果であるというふうに認識しています。最後にフォーラムにおいての満足度を伺いました。80%の方によかったというふうに感じていただきました。これは休日の昼間、大変暑い中であったにもかかわらず、このようなお答えをいただきまして、このことは非常に励みになりますし、参加された皆様方のお役に立つことが少しでもできたならば幸いでございます。

4ページに移ります。自由意見では、やはり災害に対する心配や懸念が多くございました。高齢化に対する懸念を多くの方が持っておられましたし、子どもへの防災教育や若い世代の参加を願う意見が多数うかがえました。また、東日本大震災でのイメージが強いからだとは思うんですけども、津波に対する心配も多く見られてました。総じて防災に対する意識が高い方が多く、日ごろ感じておられる心配や懸念につきましては、非常に的確な指摘であるというふうに思います。

5ページへ移ります。その他少數でございますけれども、興味深い意見もありまし

たので、ご紹介をさせていただきます。今回は、行政からの派遣者を中心に活動報告を行っておりまして、当然のことながら辛口の意見もいただいております、それらも糧にしながら地域の皆さんが求めている情報をタイムリーに的確に伝えていけるよう進めていきたいというふうに思います。

6ページに移ります。今回のフォーラムは、地域の皆様とさまざまな意見交換を行いながら安全、安心なまちづくりをともに考えるきっかけとするべく開催いたしました。その結果を踏まえ、これから防災を考える上での課題を、これはもちろん従来からの課題ももちろんあるわけでございますけれども、3つのテーマにまとめてみました。一つは災害対策の必要性、次に若い世代の参加の必要性、そして連携強化の必要性でございます。これからそれぞれのテーマに対する取り組みや検討していく方向性、そういうところのご説明をしたいと思います。

7ページでございます。最初に水害対策の必要性についてですけれども、東成区には位置的に津波の直撃を受けるとは考えにくい地域です。大阪市では、従来の想定が大きく変わることを前提にできることから津波対策を進めておりますけれども、東成区はその対象とはなっておりません。しかしながら、従来の想定を超えて津波が押し寄せた場合、河川にもさかのぼって堤防が決壊する可能性はないとは言えません。堤防決壊による浸水はゲリラ豪雨など、大雨の場合でも起こり得るものですので、東成区では水害対策に軸足を置いて進めたいと思っております。

次のページでございます。こちらのほうですけれども、これは平成15年度の東南海・南海地震による津波等対策検討委員会で検討された洪水避難の基本方針でございます。淀川のような大河川の氾濫では市内の約4割が浸水し、昼間で174万人に上る方が影響を受けるという大規模な想定です。したがいまして、津波避難のように浸水が想定される範囲から出ていくというのは非常に困難だというふうに考えられまして、そのような避難の方針を想定しております。端的に申し上げますと、3階建て以上の堅牢な建物のその3階以上に避難するということになります。

上町台地以西の10区につきましては、「津波避難ビル」というものの指定を進めておりますけれども、東成区においてもこれに準じた形で水害の避難ビルはもちろん、これは仮称でございますけれども、そのような建物の情報収集を進めていきたいなというふうに考えております。

次のページでございます。こちら浸水想定なんですけれども、この浸水想定につきましては、淀川流域に総雨量500ミリの雨が降った場合のものでございます。ちょっと色のついた部分があるんですけれども、こちらのほうで最大3メートルの浸水となる可能性があります。ちょっと見にくいかもしれないんですけど、数字の入った丸い点が区内15ヵ所あるんですけれども、そちらのほうは収容避難所をあらわしております、ほとんどの収容避難所はすべての階数が利用可能、1階も含めて利用可能にな

つておるんですけども、環状線沿いの3カ所ですね。ちょっと赤い丸のついている場所につきましては、3カ所については1階まで浸水するおそれがあると言われております。だから、2階以上利用可能というふうになっております。

上町台地以西の10区では、地域の実情を把握し備蓄物資、資機材庫の上階、2階以上へということですけれども、その移動を段階的に促進することを、こういうふうに対策をとつておるんですけども、この想定で1階まで浸水するおそれがあるって今申し上げました、その周辺の3カ所なんですけれども、たまたま2階以上に備蓄倉庫があるんですけども、実は東成区の収容避難所15カ所のうち9カ所につきましては、備蓄倉庫が1階にございます。ですので、水害対策を進めるまでの今後の話なんですけれども、上階への移動というのも検討すべき時期に来ているのではないかというふうに考えております。

次のページです。次のテーマは若い世代参加の必要性でございます。今回フォーラムでは中学校を会場にしましたけれども、例えば中学生を震災訓練に参加させるということになるにはですね、日ごろから防災教育を授業で行う。それから段階を踏みまして、意識づけをしていく必要がありますよというようなご意見をいただきました。片江小学校のように、訓練メニューを工夫して小学生の参加を図るというのも大きなヒントになると思いますし、小・中学校が実施している避難訓練、そういったものとの連携というのも検討していく価値があるんじゃないかなというふうに考えております。

釜石東中学校の例にもありますように、日ごろから訓練で自主的な判断ができるまでにレベルを上げておけば、大きな力になるということは実証されております。区役所としましても、PTA向けの防災講座とか区の職員と防災リーダーですね、による防災講座との連動を、これから小・中学校のほうと進めていきたいなというふうに考えております。

次のページ、ちょっと参考に写真をのつけているんですけども、左の上のほうですね。こちらの片江小学校のフォーラムの例ですね。小学生、熱心にロープ結索の訓練に参加している風景でございます。右下のほう、これはつい先日なんですけれども、本庄中学校の夏休み全校登校日に行われまして、陸上自衛隊広報部隊による防災講座が行われたんですけども、その一風景でございます。いずれの会場でも真剣なまなざしで参加されていたことが、非常に印象的でございました。

次のページに移ります。次に連携強化の必要性なんですけれども、特に災害初動期における防災ネットワークの構築は喫緊の課題であるというふうに考えております。既に取り組みを進めておられる地域もありますので、ただご検討中に区役所のほうで作成をする予定の災害支援法、こういったものを活用していただきまして、地域の持つ防災力を一層高めていただくために支援を行いたいというふうに考えております。必要であれば、避難場所や防災機材の提供を主に、協定や覚書の締結にも協力させて

いただきますし、昨年に引き続き企業や事業所向けの防災セミナーも開催する予定でございます。

次のページです。地域防災計画の改定に係る今後のスケジュールにも少し触れておきたいと思います。国の地方防災会議による東日本大震災や他の海溝型地震検討の方向性、こういったものの取りまとめは、今年の秋ごろになる見通しでございます。その後東南海・南海地震の被害想定見直しが行われました。平成24年度以降、結果の提示が行われる見込みです。国のはうの東南海・南海地震対策取りまとめと並行しまして、本市でも地域防災計画の改定に着手する予定でございます。

次のページでございます。地域防災計画の改定にはまだまだ時間がかかると思われます。ですので、今、東成区では今までいろいろご説明申し上げましたとおりに、さまざまな課題に取り組んでまいりますけれども、こういったものをその三つのテーマに対する取り組みと総論的に申し上げます。短期的な目標としましては、地域で取り組まれている活動の支援と、東成区防災マニュアルの改訂を含む情報の収集検討をすることにしております。地域で実施されている活動を支援するということを基本に考えてございます。長期的、継続的な目標としましては、PTAや中学校、企業との関係強化を図ってまいりたいというふうに考えております。もちろん一朝一夕にはいきませんけれども、皆様とともに若い世代の参加を拡大するための方策に努めてまいりますので、よろしくお願ひいたします。

次のページでございます。最後になりましたけれども、先日の大雨による浸水被害の概要と区役所の対応を報告して終わってまいりたいというふうに思います。図に表しておりますとおり、浸水、こちらの画面で言いますとちょっと青い色のついているところですね。もちろんその大きさが被害の大きさに比例しているわけではなく、ちょっとこれは大体このあたりというイメージで見ていただきたいと思うんですけど、こちらのほうに表しておりますとおり、浸水被害につきましては東成区の全域で発生しております。大阪市の下水道というのは1時間当たり60ミリの大雨に備えております。実はこの想定というのは、60ミリの想定というのは100年に1度の確率というふうに言われておりました。ところが、今回は1時間当たり77.5ミリも雨が降っております。しかも、観測史上最大となります前回の話ですと、前回が1979年9月に発生しております。つまりこの30年間で2回も発生しているということですので、河川氾濫とともに集中豪雨、ゲリラ豪雨に対する備えも見直していく必要があるのではないかというように思っております。

次のページでございます。8月27日15時05分大雨洪水警報が発表されました。大雨洪水警報の発表後すぐに防災担当職員が区役所のはうに参集しております。そして警戒待機態勢に入りました。16時20分以降、繰々と浸水被害の報告が入り始めましたので、状況把握のために職員を現地に派遣したり、連合のはうに問い合わせを行いまし

た。17時39分に大雨洪水警報は解除となりましたけれども、浸水被害に対処するため、連合に対し消毒液の配布を行いました。浸水被害に伴って発生しましたごみにつきましては、翌28日、これ午前の朝8時35分くらいからなんですかけれども、東部環境事業センターのほう、浸水区域の状況確認を行っております。午後から特に通行に支障のあるごみにつきましては一部回収をしております。さらに8月29日には被災証明書の発行に関して、連合のほうへ協力をお願いをさせていただきました。被害状況なんですかけれども、一応これは8月29日現在の集計になるんですけれども、床上浸水が14軒、床下浸水が434軒に上っております。

以上をもちまして、地域防災フォーラムを行いました東成区の防災への取り組みと8月27日の大雨による浸水被害の状況の報告を終わります。ご清聴ありがとうございました。

○清水委員長

ただいま区役所のほうから説明がございました。何か皆さんのはうでご質問等はございませんか。何かございませんか。

○岡本（秀）委員

すみません。岡本です。ちょっとお伺いしたいんですが、中学校で防災フォーラム、各4中学校で開催されました。その中で当然事前に中学校のほうへお話を聞いていただき、協力依頼をされたと思うんですが、中学生の参加はここに出ておりませんが、どれぐらいの数があったのか。その辺をちょっと教えていただきたいなと思います。

○吉田防災担当

4中学校のほうに協力を会場をお貸しいただき中学生も参加をお願いできませんかというのを確かに、私どもも協力、サポートの依頼をいたしました。ただ、なかなかやはり中学生となると部活動とかが優先になりますのでなかなか大変なんですよという話をいただいたんですけども、実は相生中学のほうでそのときクラブ活動をしていた子どもたちが飛び入りで参加していただきまして、そのときにたしか野球部だったと思うんですけども、20人近くいてたと思うんですけども、彼らが積極的に防災訓練をしたいという言い方だったというような経過がございます。

○岡本（秀）委員

ありがとうございます。それ以外の中学校はなかったわけですか。

○與那課長

ただいま担当代理のほうから答えたんですけれども、中学校のほうへ打診して、当然その若い生徒さんも含めてご参加をいただきたいと趣旨を申し上げておりますし、当然その学校の教職員の方が、保護者あての案内チラシ、それと児童・生徒さんあてのチラシというのも取り組んでいただけました。ただ、夏休みの期間中とかいうことでございましたし、なかなか集客について、何人来られるかというのも含めて、つか

めなかったところは確かにございました。ただ、相生中学校におきましては今申し上げたように、たまたまおられた。あと片江小学校で開催したときも、70名近く、80名近く児童・生徒の方が集まられました。といったことで、各会場につきましては、小さなお子さんも保護者連れと、数名おられたのは実績として思っておりますので、今後はやはりそういう若い層への働きかけも含めまして、学校との連携という形で強化をしていく中で、集客もやはり見込んでいきたいなというふうな方法で考えております。

○岡本（秀）委員

ありがとうございます。実は、私は本庄中学校下の今里地区なんですが、数年前に中学校お願いして、本庄中学校下は小学校が3校があるんですが、合同で一度フォーラムをやったことがあるんですが、そのときにも当然学校のほうに校長先生からお願いをいたしまして、生徒の出席、参加をお願いをしたんですが、今お話があったように、クラブ活動でそんなん行ってられへんと、休みは特に大会があり、練習があるのでちょっと行ってられへんなと、そういうお話やったんですね。その後我々のまた方法を考えないかんないうことだけで止まってしまったんですが、これは教育委員会からのほうにお願いをして、これから東成区で取り組もうとされている事業の一環として取り組んでいただけたら、もっと広まってくるんじゃないかと。今の状態では、放課後あるいは休日に開催ということにしておりましたので、と言いますのは、我々も協力するのに平日昼間ですとなかなか集まりにくいことがございまして、そういうことで休日あるいは夜間になってしまふわけですけれども、ここはちょっと我々一步下がって授業時間中にそういうことができればなど、そんなふうに考えております。よろしくお願ひいたします。

○清野区長

すみません、ちょっと私のほうから。さっき課長お話ししましたけど、一つ間違えている点があります。夏休みと申し上げたんですけど、やったん6月ですので。そのころの話で正直言いますと、場所をお借りするのに、ちょうど中学校の試験休みで場所が空いてるから貸してくれるみたいな話もありまして、今岡本会長おっしゃられたような部分もあります。今回のパワーポイントの刷り物にも書かせていただいているんですけれどね、やはり中学校の予定に合わせてあげるというのも大事やなと、確かにおっしゃるとおりだと思います。その目的として中学校のカリキュラムの中、あるいは小学校のカリキュラムの中にうちの関係職員が入っていけないかというのを短期的な目標にさせていただいているのはそのためです。悪口だけではなくて、さっき課長代理からも申し上げたみたいに、放水訓練、相生中学の野球部の子が喜んで協力してくれましたし、本庄中学でいろいろお話をしている中で、校長先生のほうから、それやったら全校登校日に子どもたちに意識を持ってもらうという目的でやりますよという

ことで教えていただいていたので、22日の日に私も拝見させていただいたんですけど、自衛隊の装備全部ご用意いただいて、いわゆる車両とともに中学生の子が乗れるようになつてましたので、かなりいろんな防災に関して考えてもらえる機会にはなつたのかなと思います。あともう一つ、片江小学校で開催させていただいた、これは清水会長のほうからもお話があつて、よその区で例えば生徒会が取り組んでやろうよといったところに乗っている。特にやはり津波被害というのが大きいので、例えば大和川周辺の中学校とか、海に近い中学校というのは、中学生自身がやろうよということになつてますので、そういう場所であればこういう会合にも中学生の方が来られて意見を述べられるというはあると思うんですけども、ちょっと東成の方は考えづらいな。私らみたいに日ごろ顔を合わせてない人間が突然中学校へ行って、中学生の皆さん何かしやべってください言うても、しゃべりようがないやろというのがあって、小学校のころから顔の見える関係をつくっていくのも大事じゃないかというヒントをいただいたので、4つの中学以外に片江小学校でやらせていただいたという経過もありますので、そういう経験を踏まえて、今、岡本会長からもございましたみたいなことも進めたいと思います。長くなつてしまふせん。

○清水委員長

ほかからのご意見。はい、どうぞ。

○桑田委員

すみません。企業とか事業所との絡みでお伺いしたいんですけども、今、東成区に昼間通勤されている人がどのくらいいるのか。あるいは東成からどんだけの人が外へ出でているのか。その辺は数字的につかめているんでしょうか。

○吉田防災担当

昼夜間人口の差なんですけども、東成区に8万人ほどの人口がおるんですけど、流出・流入ともほぼ約2万5,000というふうに聞いております。

○桑田委員

それと、津波とか水害のときに私は深江地区にいるんですけども、あそこら辺で高い建物いうたら学校関係とかドギーマンとかコクヨさんなんかなんですが、この辺の協力体制というかそういうものは、どうやられてるんでしょうか。

○吉田防災担当

まだ個別の事業者さんとのお話は、それほど進んでいるわけではございません。ただ、地域の方々はそれぞれの地元の企業の方とのお話を進めておられるようですので、私たち今これからそういった情報を収集するなり、研究させていただいて、何ができるのか、私たちにできることはないんかというようなことを検討していきたいと思います。

○桑田委員

防災フォーラムのようなことを工業会とか区役所さんのほうでやっていただいて、そこにいかにその企業を取り込むかということが一つの課題になっていると思いますので、できるだけその企業との関係というのをちょっと大事にしていただきたいなと思うのと、この先企業の通勤者が訓練とかいうことはほとんどありませんので、例えば金曜日の夕方、4時ぐらいから2時間ほどやってみるとか、一旦会社をその時間で終わってもらってからその訓練に参加してもらうと、そういうようなこともできる時間というのも考えていただければいいかなと思います。

以上です。

○清水委員長

ほかからご意見いただけませんか。はい、どうぞどうぞ。そこにマイクございますので。

○大西委員

大西と申します。先ほどの中学生の件なんですけれども、今度の防災訓練、9月4日にございますね。中学生の青少年指導員さんの主催の中学生の聞く唯一の方法でいくと、ソフトボールの大会も同じ日にあります。そういう面も、それぞれの団体さんのご都合とか、いろんなところで調整をしにくいんだろうとは思いますけれども、もう少し中学生の子、いっぱい出てきてほしいなとか思うときには、ちょっと調整はとっても難しいのかもしれませんけども、何かわかる方法があればいいのになと思いました。よろしくお願ひいたします。

○清水委員長

西野さん、今そういう意見が出てるんですがね。ちょっとそれに対して、ちょっとお宅のほうの、意見言うていただけますか。

○西野委員

西野と申します。私今日こちらのほうで参加させていただいているけれども、ちょっと大西委員さんのほうから青少年の指導員が今度の9月の4日のほうに男子はソフトボール、女子はキックの大会がございます。これは市に9月4日にこれ東成区全体挙げての防災のことやられるものでございます。その中で多分今おっしゃったのは、中学生の方なり、また若い人の力なり、そして青少年関係でやってる方々の参加を多分問われたと思いますけれども、私が以前その青少年指導員やってますときは、日にちをずらしたり、その辺は考えたつもりでやってます。私ももう今〇Bになっておりますので、現役の方々の考え方いろいろあるかと思いますけれども、やっぱり区でこうやって一大の事業なさることもございますので、やっぱり関係団体なり並びに合わしながらやっていかなければということでございます。ただ一つとりまして、区の大会であり、また市の大会が順次開催されますので、多分その日程合わしながらその行事のほうもやっていると思います。ですからなかなか各団体日程あるかないか

という部分もございますので、今後またその今の意見、将来的にしましても、今後ともひょっとしましても、やっぱり区の一大事業でございますので、考えながら、また青少年関係団体のほうに言うていこうと思っておりますので、それでいいでしょうか。

○大西委員

よろしくお願ひします。

○清水委員長

ありがとうございました。

○與那課長

少しよろしいですか。

○清水委員長

これ、今の件、大体区役所の担当が知ってるはずなんですね。そのときに、やはり青少年指導員とか、これはこうこうですよって言うてもうたらええんや。だからそういう指導をしていただいたらええのん違う。

○與那課長

ご指摘のとおりです。子ども会のキック、ソフトについては、9月の第一日曜ということで、定例的に決まっている内容でございまして、震災訓練は防災週間というのは1日から7日までの1週間ございますので、日曜に開催するということになりますと、第一日曜というのがバッティングするのはもうこれ当然の結果だと思っておりますが、その辺についてはどちらもやっぱり集客を望むものであります、バッティングしたままですっといふというのは、やはり本末転倒かなということもあります。開催の日程については調整しながらどちらもちゃんと行けるようにさせていただく。

○西野委員

早い目に日程をいつ開催するかって、どっちがどういかわかりませんけれども、やられる日程を。

○清水委員長

西野さん、すみません、マイク使ってください。

○西野委員

今、與那課長おっしゃいましたけれども、ですからお互いにやっぱりいいことをしてますので、日程的に早目早目に下ろしてあげたらバッティングもないんじゃないかなと思いますし、お互いの意見も聞けますので、ぎりぎりにやるとなかなかどっちがどっちがということになってまいりますので、年度初めに早々に日程を下ろしていただいたら、各団体が調整できると思いますので、その辺はくれぐれもよろしくお願ひしたいと思います。

○與那課長

承知しました。検討させていただきます。

○清水委員長

ありがとうございます。何かご発言ございませんか。たくさんあると思うんですがね。今日、これ東成区の防災についてということで、先ほど報告あったんですが、実際このアンケートにしても私が言うのもどうかなとは思うんですがね。アンケートもこのように出でますけどね。これ参加した人に、このフォーラムをどうですかと言うたらみんなええいいうんですよ、これ。いや、ほんまの話が。だから参加しない人をいかに参加さすかいう方法、問題ですね、これ。これはやっぱし、区のほうでねPRしていかにやいかんと思うんですよ。これほんまに、これ地域が来なさい来なさいいうて言うんですよ。大体で参加するように言うてますねん、これ。これね。そういう方は熱心な方なんですよ。そういう方に聞いても、ええの当たり前なんですよ、これ。だからこの間も区民まつりありますね。あのことを参加した人にどうですかと聞いたらええ、ええ、ええと。来年来ますか。行きますよ。こうなるんですよ。だから来ない人の意見を聞かなあかんと思う。それが、東成区が伸びていくことなんですね。昔は東成区で、東成区にあなたは住みたいですか、今後住もうと思ひますかというアンケートをしたんですね。ほんならね、一般の人から80%ほど、東成区においていう回答あったんですよ、これ。こんだけ東成区ええいいう話が出てるんですよね。回答がね。だからいっぺん、今回も区のほうからのそういうアンケートをいっぱいとられたらどうかなと思いますね、これ。でないと参加した人に何ぼアンケートしたって、これええ回答しか来ません。だからそういうアンケートを区から予算を使って、要らんとこに金使わんと、そこへ使ってもらうのはどうかなと思いますね。

○西村課長

ありがとうございます。私、区民モニターのアンケートの担当をしておりまして、年4回のアンケートの機会ございますので、ぜひそのような機会を使いまして、防災訓練とか来られない理由とか、そういうのをぜひアンケートしてみたいと考えておりますので、またよろしくお願ひいたします。

○清水委員長

ありがとうございます。

それから、これをちょっと皆さん見てもうて何か質問があると思うんですがね。今までの結果よりもこれから東成区どうしたらええかというご意見をね、賜りたいものなんですがね。

ちょっと区長さん、私のほうからお尋ねしたいんですが、これ学校にインターネットの設備はできているんですか。できてまんねんね、これ。私それを学校に聞いたらある言うんです。私思いますのは、各小学校、中学校は避難場所になってますね。あそこでパソコンを持っていって、やつたらええんじやないかと思うんですよ。学校にあるパソコンはほかのものが入ってますので、これを借りるわけにはいきません。す

ると、情報を仮にどこそこ浸水したとか出るわけです。ところがそれをつなぐのにやっているのは教育委員会が管理してまんねんな。だから一般には貸せないかわかりませんという返事を学校からもうてるんですよ。これ。だからそういう面ですね、いっぺん学校と教育委員会へ言うていただきまして、それが利用できるかどうか。ほんならね、水害でもそういう地震の被害状況ですね、全部出てくるんです。それをつなぐとね。だからそのインターネットが入ってるんですが、我々が使えるかどうか。学校に聞くと教育委員会のものですので、ちょっとその点は我々はよう答弁しませんと、こういう話。その点、いっぺんそっちのほうからやっていただいたらええんじゃないかなと。私、実際は筆談やるでしょう。そのときに、用紙に書くよりノートパソコンを置いといて、ほんで打つ子を決めといて、ある程度若い子やったら打ちますわ。僕らはもう手がしごれてどうにもなりませんけれどもね。だからそういうようなことを考えたらどうかなと。地域振興会にも予算いってるでしょ。東成区の予算もあったりですね。区からそういう予算を少しずつあげたらええのんちゃうかなと思うんですがね。検討課題にしてください。

○清野区長

今のお話しいただいて、しゃべれなければならない部分かもしれませんけども、一つありますのが、役所のパソコンなんですけれども、いわゆる有線LANになっていて、いわゆる業務のシステムなんかでつないでいるものになると、その持っているパソコンを職員が自分の番号を打ち込まないと立ち上げられないような形式になっている部分があります。そのパソコンについては、業務用端末ですので、そこにわけのわからないのが入り込まれますと、業務全体に支障を来すというようなのがあるので、そのまま小学校にあるパソコンとつなげるかどうか。これはちょっと申しわけないです。多分学校の先生がおっしゃられるとおりで、地域の方に触っていただける状況じゃないとは思います。ただ、今例えば、また後ほど機会があればお話をします。今日も防災対策の会議があったんですけども、今例えばいろいろと区役所のほうとか市役所のほうから皆さんに連絡させていただくのに、例えば携帯電話、これかなり機能が上がってきますのでね、NTTドコモとつないで、エリアに全部NTTの携帯を持っている人には防災の情報をすぐ流せるようにしようとか、そんな検討も進めています。また、区役所のほうで持っているいわゆるインターネットの関係、これは区役所のほうと接続していただいて、双方向で何かをするということであれば、パソコンさえ立ち上げられれば、恐らく何か考えられるんじゃないかなというふうに思いますし、ちょっと今回も職員に言ってたんですけども、きょう8月27日の避難の場所、これこの丸で黒くしてましたけれども、例えば区役所なり市役所が通信衛星を使ってチェックができるような、そういう地図、GIS、GPSなんかの地図なんかも、ネット上で使えるようになってきてますので、だからそういうのをつないで例えば地域から

こここの家で何かあったよと。それについて区役所のほうでまとめて整理して全部に流すとか、双方向でやれる可能性が全然ないとも。今の状況ででも、全くないとも思えませんので、だめであればメールなりでいくという方向もありますけれども、区役所と学校がつないでいかなければならぬなというのは、これは十分認識してますので、今回もそれぞれの区内被害状況、全小学校、中学校にファクスで流させていただいて。というのは、エリア的にあったものですから、学校の先生、夏休みですし、ご存じないという話もあるのかなと思います。今後どういうふうに双方向で連絡取りましょうかというのをちょっと担当を通じて始めてもらっていますので、まずそういうところから始めて、技術的に可能であれば、清水会長おっしゃるみたいに、それぞれパソコンで連絡が取れるような方法があれば、またそれも考えていきたいと思います。

○清水委員長

携帯は、もう災害があつたらあきまへんねん。無線しかね。だからね、あのせっかく無線が各校下に入ってるでしょう。実際に片江も平成7年に無線やりましてね、何かあつたら無線入れたいうて言うてましたよ。これが水害あつたでしょ。私ね、各町会へ、こちら片江本部という応答してくれたのはだれもおれへん。来たんですよ。おまえな、電源入れよと。ところがね、ああいう水害がありましたやろ、小さい。うちついてへんと。そんなんついたんかと。こうですわ。もうだから、やっぱしああいいうのは、大雨降ったら、これは役員さん悪いけど歩かなあかんでと。私言うてるんですけどね。だからやっぱり災害が起こったら各連合には区役所と結んでる無線あるんですね。その無線の電源を入れると。これはやっぱし区役所のほうからもうちょっと、私も連合には言いますけどね。言うてもらうようにやっていただいたらありがたいなと思いますね。この間は実際役所と校下と無線入ったの僕だけなんですよ。ほか全然入ってないというような状況ですので、これはもう再三言いまして、ほんまに一部的な浸水でしたのでね、だから避難者もなかつたですね。これ。今のところなかつたでしょ。

○岡本（秀）委員

なかつたです。

○清水委員長

避難者はなかつたですわ。ついたところは40センチぐらいつきましたかね。

○岡本（秀）委員

そうですね。

○清水委員長

床上もこれあるそうですけれどもね。20件ぐらいですか。あるんですね。これ。

ちょっと話、横道反れましたけど、何か今後の要望ですので。

○岡倉委員

岡倉です。今、清水委員長のほうから災害時における情報と言うんですか。IT化したらどうかとかなんとかいうふうなご提案ですが、大変結構だとは思いますが、そこで僕は勉強不足なんですけれども、その防災センターの中心になる区役所なりあるいはこの区民交流センターですか、が停電時における自家発電装置とか、そんなんきちんとできてるんですか。

○清水委員長

自家発あるよね。そっちあります。

○吉田防災担当

はい。自家発電装置備えてあります。

○岡倉委員

だからそういうきちんと各校下のほうでも、何かいい方法をあれしないと、せっかくの電子機器がやっぱりパワーがないと、ただの何と言いますか、ハードだけでは動きませんのでね。そういうようなことも将来に向かって研究課題にしていただいて。

○清水委員長

各校下にはね、東成区の日赤奉仕団から、一応発電機は送ってます。これは1.5やったかな。

○岡本（秀）委員

2.3.

○清水委員長

たしか1.5か2.3。2.3ですか、あれ。各校下は持っていますけどね。こう訓練やってくれと。やってくれてるものと思うてますけどね。

○清野区長

避難所開設訓練なんかのときに、私何ヵ所か毎年回ったりするんですけども、実際に発電機引っ張ってやっていたいしているところありますし、岡本会長のところなんかは、夜間の泊まりの訓練やられましたので、その発電機を直接学校の配電盤につないで電気がつくように、そういうチェックをしていただいているところもあります。そういった意味で各校下とかね、そういうチェックはしていただいていると思いますので、ご報告だけさせていただきます。

○清水委員長

はい。どうぞ。

○深江委員

医師会の深江でございます。中本連合会で先週の月曜日にも、大阪市でも初めて、あるいは全国でも初めてと言われている図上訓練を行いました。実際震災が起こったという設定をもとに、参加者にいろんな状況下を指示いたしまして、そこでどう対応してもらえるかという問題にしたんですけども、実際問題、大きな震災が起こってし

まうと、救急車は動かない。医療機関も不足している。救急病院ももちろん手いっぱいで動かないということ、信号機もストップしている。これ交通手段もだめな状況下で、震災におうた被害者をどう助けていくか。一番緊急を要する方をいかに助けていくかというテーマに、我々は非常に各診療所が率先して患者を受け入れるということでは問題ないんですけども、次、第二次的に小学校にあるいは中学校に避難されるという形になると思うんですけども、その避難場所に医師を派遣できるのが約2時間後、その最初の2時間の間で生死を分ける問題に対して、いかに区民の方が適切に対応しておられるのかいうのは非常に大きな問題なんです。救急車が動き出し、あるいは自衛隊が動き出したときには、それなりの援助が期待できますけども、最初の1日目に、いかに我々医療機関のドクターがその避難所に詰めるかという問題を我々医師会は真剣に考えておりますが、実際防災訓練、9月4日にもありますけども、9月4日にやったときに、連合町会さんの参加が非常に熱心で頭下がる思いなんですねけども、当日使わしていただく学校、あるいは収容場所になる学校の参加者がなければ、これは不十分かなと考えておりますので、その辺、委員長よろしくお願ひいたします。

○清水委員長

ということは、具体的にはどういうことなんですか。

○深江委員

学校関係者の震災訓練に対する参加がなければ、実際震災が起きたときに中心になって動いてもらえるのはやっぱり学校関係者ですので。

○清水委員長

学校ね。この間、片江小学校でフォーラムをやりましたね。そのときは8人来てましたね。私いつも言うんですわ。先生が来なかつたらいかんやないかと。教頭一人ではあかんと。この間言いましたらね、この間の6月の4日やったかね。あれ、やつたん。そのときに先生8人来てました。そういうことをやっぱり区から言うてもらわなあかんと思いますね。

○深江委員

そうですね。現場に教職員がいないというのは収容場所の機能がほとんどわからなくなってしまうんですよ。

○清水委員長

そうですね。

○深江委員

できるだけ今後とも震災訓練をすると思いますけども、そこに教職員の参加をお願いしたいなと考えております。

○清水委員長

ありがとうございます。頼みますわ、役所のほうから。

○**與那課長**

若い世代の育成とかというところもございますし、学校のカリキュラムの中に防災教育も含めて、やっぱり入れていかなあかんという問題点等々ありますので、当然学校との接触、調整というのはこれから発生してまいりますので、そういう点につきましても強調しながら取り組んでいきたいなと、このように思います。

○**清水委員長**

西野さん、どうぞ。

○**西野委員**

西野でございますけれども、先ほど若い人たちから、若い力が当然震災のときには大事やという説明があったんですけれども、最初の岡本委員さんが最初に地域防災フォーラムのことをおっしゃいましたけれども、お聞きしたいことが多々ありますて、このフォーラムをやられた内容です。どういう内容をカリキュラムでやっておられるのか。どういう内容でその時間を過ごしておられるかという内容ですね、どんなことをやって、こんなことをやったということをちょっと教えていただきたいのが一つと、若い力、当然中学校でこれやられておりますけれども、小学校でもやられております。人数、参加者人数出ておるんですけども、なかなか学校にお願いして、いろいろと子どもたちが集まるか言うたらなかなか集まりません。さっきもクラブ活動のこともおっしゃいましたけれども、当然クラブをやっておられて、そのときに参加したという部分も聞こえたわけですけれども、やっぱりそういう中学校なり小学校の子どもたち、我々も若い人を集めるのに本当に苦労しておりますけども、なかなか今の人たちは文章だけではなかなか参加してくれない。ちゃんと見てるか、学校からのお願いという文章、そして先生方からも言うていただいているものはあるけども、なかなかそれではやっぱり子どもたちの参加というのは非常に薄いわけです。ですからいかに子どもたちの中に入って接して、そして気持ちを通じて、人間関係ですので、その辺は子どもとの対話をしながら参加のお願いをせなあかんいう部分があると思います。ですから、何ば文章簡単やから流したらそれでええわというのじゃなくて、やっぱり汗水垂らして、人の参加というのは求めていかなあかんと思いますし、文章だけでなかなか人は集まらない。我々も青少年関係のほうで子どもたちを集めるという中ではなかなか文章だけでは。ですから、いろいろなことを子どもとの対話、子どもとの何かのときの対話で入っていって、タイミングよくやると。ですからこういうせつかくのフォーラムをなさる部分もありますので、やっぱりこれから先も集め方の問題もおっしゃいましたけれども、その辺は考えて、早目に早目に何回も言うんですけれども周知、早目に案内を出していただいて、子どもたちに声かけをして集めるという努力をしていくべきだと思っています。あと内容等ちょっと教えていただきましたらありが

たいと思います。

○吉田防災担当

一つ目はフォーラムの内容だと思いますので、今回この間私たちのさせていただいたフォーラム、基本的には、被災地、この前の東日本大震災の被災地のほうにいろんな職員を派遣をしておるんですけども、その派遣職員の現地の活動方法を大体中心に行いました。その後、その体験に基づきましてですね、それに対しましてですね、いろんな意見表明とか、座談会、任意形式での意見交換会を行ったような中学校もございますし、あるいは震災訓練とか、一緒にコラボレートした会場もございます。ですので、5会場でやったんですけど、それぞれにちょっと特徴がございまして、基本的には職員の活動方法というのを基本におきまして、あとそれいろいろな、パネルディスカッション的なことをやったところもありますし、訓練をやったところもある。そういうふうに思っていただけたらいいのかなと思います。

それと二つ目の、たしかに紙のお知らせだけではなかなか参加してもらえないというような趣旨だと思うんですけども、その点はね、ちょっと説明の中でも申し上げたんですけど、中学校の会場をお貸しいただくときに、学校の先生にお願いに上がったんですけど、やっぱりいきなりそんなん言うても無理やと、いうのはたしかにあります。たまたま学校の試験休みのときはあいてるから貸してあげられるけれどもね。ただ、こういった訓練とかフォーラムに中学生を参加をさせるのであれば、やはり段階を踏まないといけません。それは例えば1年生のときは大きな基礎的な知識を講堂とかで話をするとか。二つ目、2年生は少しレベルを上げてちょっとワークショップ的なものをやるっていう、そういったふだんの授業の中から段階的に行って意識づけをしていくことが重要ですよ。それを飛ばしていきなりフォーラムに参加しなさいっていうのはそれは到底無理なんですということを言わされました。私もその点、今回で一番大きな反省点かなと思っておりますし、どうやって中学生の参加を促していくのかというのを、命題だと考えておりますので、そのような意識づけが一緒に、そういったところに区役所とか、あるいは防災リーダーの方がたくさんいらっしゃいますので、その方々のご意見なんかをいただきながらですね、ふだんの中学生の生活の中に⼊っていって、意識をもっていっていただけるような方策ができるかというふうに、考えている途中でございます。ということでおろしいでしょうか。

○與那課長

4、5、6年生、中学1、2年生とか児童・生徒さんを、やはりその参加をしていただくとなりましたら、やはり体験型の訓練というのをそのカリキュラムの中に入れていく必要は絶対あると思います。例えばこれも結果的に相生中学校については、クラブ活動をしているときに消防と地域防災リーダーの方がやられた放水訓練、これは一番端のほう、先端のほうを持っていただくような、そういう地域防災リーダーと一

緒になって火消するということに興味を持たれて、実際18人ぐらいですかね、一人ずつ持って放水をされた。片江小学校でもちっちゃい子どもさんが体験することについて、やはりそういう発想を持っていかないと、なかなか子どもさんの興味を引けないと。参加をまずしていただく中で、時間をかけて、小学生であれば今度中学行きますので、小さいときから防災についての意識、そういったものを体験しながら感じてもらえるような、そういう内容を考えていく必要はあるのかなと。炊き出しもそうですし、片江の資料にもありますように、ロープ結束とか、三角巾とか、やっぱりそういうところから入っていくというのも一つの方法ですし、当然子ども会さんとか指導員さんとか、ふだんから子どもさんと接しておられる方々から、我々行政としても情報をいただきながら、接し方も含めてちょっと検討をさせていただきたいというふうには思っております。

○清水委員長

よろしくうございますか。

○岡本（美）委員

すみません。3.11以降すごく、全国民防災意識に対してはあると思うんです。そのカリキュラムに入れていくというのもすごくあるんですけども、何か今一番みんなが興味持つてることって意識していることが今だと思うんですね。今でも地震多いですよね。余震がたくさんあったりとか地震がある中で、その段階踏んでとか、こう何年とかって言われると、何かピンと来なくて、先ほどもそんなに意識が高いのになぜ参加者が少ないのか。もうこの点が私は一番気になる点なんですね。やってることはすごいいいことやのに、参加すればすごくみんながいいと言うのに、どうして参加する人が少ないのでいうことがすごく大事かなと思ってしまって、そういうこのフォーラムの各中学校なんですけれども、結集目標とか、そういったのは掲げてるんですかね。結集。何人来たらいいっていう結集目標とかというのはされて。

○清水委員長

マイク前に。聞こえました、聞こえます。

○岡本（美）委員

すみません。私はその結集目標をどのくらい取ってはるのかとか、あとまた今度の9月の4日のことも町会でいろいろ回ってきたんですけども、各班から1名でいいとか、そういう決められた人、声がかかった人しか参加できないじゃないかという声もありまして、組には回ってくるけどだからも PUSHされてないんだったら何か行きにくい、行きたく、そういう部分が出てきてるという話もあります。青少年のほうの話も出たんですけども、いきなりとかいうのが結構区の方は多いかと思うんですけども、やっぱり1年前から学校もそうですけれども、1年前からいろいろ計画立ててはるので、何かにつけても私たちもよくあるんですけども、本当にいきなりと

いうのは大変です。でも、ある程度子どもと親が集まるというのは、各小学校、青少年の校庭キャンプ等がありますので、うちの東中本小学校でもこの9月に今週末あるんですけども400名の参加があります。そういうところをこれからもポイントポイントじゃないんですけれどもたくさん集まるところの機会をいろんなものをコラボしながらやれば、結集というか参加者が多くなるんじゃないかなと思っています。

○奥那課長

ありがとうございます。区役所23年4月からリスタートという形で地域担当制というような形つくって、どんどん地域のほうに区の職員が入っていく。入っていくのにには目的としてやっぱり課題は何だろうなど。例えばこのこの連合ではどういうことをされてるのかなとかということを、本当に職員も体感しながら、実際入ってみないと地域が今どうなってるかというのはわからない状況やということもありますので、2011年のそのルネッサンス基本方針、これに基づいて市政改革の一環として今進めております。地域にどんどん職員が入っていく。そういう中で感じたこと、起こっていることについてどうしていくんだということの、今はご指摘いただいた地域を知っていかなければ、絶対その1日の関係だけでは何も進まないよということについては認識をしておりますので、今後、どんどん地域に入っていきながら、そういうふた関係づくりについてもプラスにしていきたいなというふうに思っております。

○清水委員長

どうぞ。

○松下委員

松下と申します。私、今、東成のマンション、203～204世帯ぐらいのマンションにおりますが、やはり定期的に見られるのは、防災訓練とかいろんなことやっていただいてますけれども、いつも何人集まつたらそれで一応やったなというのも毎年続きまして、濱田会長さんも、これまでまあ一つ終わったなというのがずっと今まで10年ぐらい、続いております。そしたら何のためのその皆さんのが、やっているかわからんでもね、何のために誰のためにやってるんかなっていう疑問に思ってまして、だからと言って、参加してもしている人はいつも同じ顔ぶれで、まあ一応この役職のある方とか、そういう方で、そしたら一般的のあと220人ぐらいが、結局知ってもらえるけれども誘いがない。誘う手段もない。これは一体どうしたらいいんかなというのが、ずっと今まで疑問に思ったんですけど、そのやり取りというか方法を、やっぱり何か、お役所の方に言うのもあれですけど、そういうところが、やっぱり集めるということをまずしないと、ああ、これで終わった終わったと結果論で、こういうふうに今までずっと続いておりますので、そこも疑問に思っております。

○清水委員長

私ちょっと言いますわ。実際こう役所のほうから、例えば9月4日震災訓練がある

と。1軒1軒ビラ入てるでしょ。1軒1軒入ってるんですよ。地域振興会は各隣組をくぐりまして、1枚1枚取ってくださいって回覧してるんですよ。1枚1枚交付ですよ。だからお父さんが見てお母さんが知らんいうのはないんです。1枚1枚配布しまして案内してるんです。参加者はだれでもいいんです、あれは。だから片江あたりは500人ぐらい来ますね。来はった方に必ず三角巾、それからロープの結び方とか、担架のつくり方、みんなやってますよ。だから来た人よかったです言わはる。僕らはほんまは全然無知な人が来てほしいんですけどね。せやけど、毎年やっぱしメンバー見たら変わってますよ。防災リーダーは変わりませんのでね、町会長とかね。それ以外は毎年来はる方もあります。お宅はどこの校下ですか。

○松下委員

東成区の中本です。

○清水委員長

中本ですか。中本、わりかしありしてやってくれてるんと違います。

○松下委員

うちはマンションですので。

○清水委員長

そう僕は見てるんですがね。マンションも町会の一員としてお金払ってないところには、そこの校下によって、これもう申しわけないんですが、地域振興会はみんなお金集めてますよね。各家庭から会費を。マンションは入ってない方あるんですよ。そこが我々関係ないから回せへんとこうなるわけです。ところが建物で30戸とか40戸とか、あるマンションね、一人入っておられたらポスターぐらい貼ってまっせ。貼ってくださいってわしらお願いしてますのでね。お宅のマンションが大きかって、だれも入っておられなかったらこれは知りませんけどね。

○松下委員

マンションのエレベーターの前では大きいのいつも貼ってあります。毎回。けど、参加者は少ない。

○清水委員長

だから案内はしてるんやもんね。

○松下委員

だからちゃんともう管理人さんがね。

○清水委員長

できるだけ案内するように我々は指導してるんですがね。

○市田委員

先ほどからそのお誘いがなかったら出にくいとか、若い人は余り興味もなく言われなかったら出にくい。今中本の方もおっしゃいましたけども、やっぱりそれは各自の

意識の問題だと思います。でもそのやっぱり意識が薄らいでいるというのは、今、世の中のそういう感じになってると思いますけども、やっぱり各自の意識でないと、もう本当皆さんお世話をしている方一生懸命してるとと思うんです。その若い世代の意識をどのほうにこちらのほうに向けるとか、その向けるというよりも、もう本当にこの3月11日のこの震災である程度は若い人もそういう意識を持ったかなと思いますけども、やっぱり言われなかつたら出にくいというのはやっぱりまだ意識が少ないと思いますけどね。

以上です。

○清水委員長

はい。どうぞ。

○大垣委員

すみません。中本中本とさっきから出ておりますので、ちょっと中本何丁目でしょうか。

○松下委員

3丁目です。

○大垣委員

そうですね。東中本校下ですね、校下は。中本3丁目。○○○○ですね。中本中本って出てますので。

○松下委員

私もちょっと申しわけございません。

○大垣委員

すみません。実は今市田会長も言われたんですが、私もこのフォーラムに出ておりません。お誘いがなかったんで出なかったんですね。だからこれだけの大きなフォーラムをされて、私は行ったらよかったですと思うのが物すごく今胸に詰まっています。行ってやっぱり勉強しとかなあかんなということを自分自身が思いまして、私は今社協にもどこにも属さず、東成母子会の会長としていのいてますので、いろんな意味でやっぱり出とかなだめだな。これだけのフォーラムやっていただいているのに、自分も勉強せなというところがありました。それは今大きく反省しておりますので、今後のことは参加したいと思いますけれど、防災訓練は毎年出てるんですよ。だけどほかのことでこんなに思ったことはないので、皆さんにお声をして参加しましょう。よろしくお願ひします。

○上田委員

今マンションの方の話ありましたけれども、周知徹底いうことは今委員長も言わされましたように、各戸の各戸別に町会から回っていく防災の9月4日の件もみんな受けはるんですけども、それ以前に東成のもう区政だよりですか、区民だよりですか、

新聞に挟まっているあれにも出ていたと思いますので、だから町会に入っておられない方も、自由な立場でその記事は見られて、そして参加されるのは、これは大いに結構なことやと思います。いつ何どきこういうことが起こるかわかりませんけども、起こらないように願っているんでございますけれども、防災訓練も何回も何回も出ておりますと、だんだん、その体が覚えてきまつせ。何か起こったらあないするんやないことは、最初のころは余り信用しておりませんでしたけれども、別に覚えたくないんですけれども勝手に覚えたような状態で、これからも防災訓練も気楽な気持ちで出していくつもりしております。

以上です。

○清水委員長

はい。どうもありがとうございます。

はい、どうぞ。

○篠崎委員

校下は神路ですけど、防災訓練にしてもフォーラムにしても、どちらかというと学校を中心的に開催しているのが多いと思うんですよね。実際震災などいろんなことが起こったら、高齢者が多い東成、特に神路などは高齢者が多いんですけど、学校まで避難行かれへんという問題も非常に出るんです。だから私はどちらかと言うと、振興町会とか日赤奉仕団とかは班が主ですやんか。だから近くの空き地に集まって、それこそちょっと自炊するとか、弁当買うてそこで夜食べよかとか、そういうほんまに参加型、だれでも参加できるようなやり方も考えていかないと、やれ学校、やれどっか行って訓練するのも一つ大事なんですけど、そういうほんまの訓練を自らやるということが、いかに大事かというのは物すごくあると思うんですね。だから10回参加したら、1回か2回ぐらいはいろいろ頭に残ると思うんですよね。残念ながら神路もそうなんんですけど、同じ人が何回も何回も行ってる形なので、だからいざ何かがあると、やはりその人が高齢化になっていくと、本来動いていただかなあかん方は何もわからないと。それと参加していても、年だけ食うてて何もわからないというのが現実あると思うので、そういうふうに小刻みでやっぱり訓練とかフォーラムとか、そういうことをするのも大事じゃないかなと思います。

○清水委員長

はい。どうもありがとうございます。

はい、どうぞ。

○小川委員

私地域振興会やってて感じるんですけども、やっぱり町会で組織とかあるわけなんですけれども、何か行事をする場合、なかなか参加者がないと。肝心の防災の訓練のときも全員参加じゃないわけなんですね。はっきり言ってからに、時間あって暇の

ある人が出できたいいうような形で、若い人で出でくれとかっていろいろ勧誘するわけなんですけども、なかなか反応が鈍いということなんですけれども、私、今、町会長で清水会長も一緒やと思うんですけれども、町会をまとめてどうこういう形になると、結局我々の考えているのは全員参加ということを考えてやっとるわけなんですけれども、なかなかそうはいかない。特に防災訓練のときにもそうなんですけれども、この9月の4日でも一応大成やるわけなんですけれども、ほかの行事に比べるとやや参加率がいいというような実態ですので、我々がおぜん立てしてやれ参加せいやれ参加せいと言ったところで、なかなか反応が鈍いと。ほんなら私たちも嫌になるなという形があるわけですよ。しかしそれはそういうことをできないと。やはりいざ本番というか、いざ災害発生したときには、やはりみんなで助け合ってやらにやいけない。そのリーダーである町会長がダウンしてしまうかもわからないし、連合の町会長がダウンしても参加できない。そうするとだれかがやらなきやならない。そういう認識で結局私たちの地域でそういう参加で呼んで全員参加ということを強調しとるんですけど、リーダーである町会長が必ずしも健全でリーダーシップとるとは限ってないこともありますも実態として認識してほしいということを、よく申し上げるんですけれども、災害の場合は、みんなの問題ということで、そういう形なもので、我々常に強調しとるんですけども、率直に言うて鈍いというような感じです。

○清水委員長

はい、どうぞ。

○岡本（秀）委員

すみません。災害に関しましては、私もリーダーの一人として、今までやらせていただいておりました。今各連合さん、ご自分の地域に合ったように、地域に合った方法でということで、ここ数年来やらせていただいております。年に1回の総合震災訓練の、従来は東中本公園にあちらにみんな集まって、デモンストレーションをテーマにする。そういう訓練なんですけれども、今は校下によって、校下のいい方法で皆さんの興味のあることをやっていただいたらいよということで、自由に今やらせていただいております。なかなか先ほど篠崎さんおっしゃったように、お年寄り小学校まで歩いて避難してくれというのは非常に難しい。特に夏、9月でしたらまだ暑いときですので、我々そういった人たちには事前に車いすを2、30台借りてきまして、それを各町会に必要数配布をして、これで連れていってあげてくださいということで、そういう避難誘導訓練と一緒にやっているわけです。でもなかなかそれだけでは伸びにくいですね。人数も。今ここ昨年から私のほうで取り組んでいるのは、やっぱり一番の初動というのが、各町会で各班で動かなければ、なかなかばらばらに小学校へ行って、さあ点呼や安否確認しようという、なかなか難しいわけですね。またそれやったら、地元まで1回ずつ行って点呼もせないかん。そういうことじゃなしに、まちな

かで自分のところのまちでまず訓練しようやということで、私どもも昨年から自主的に町会だけの訓練をやっております。そうすると、今まで大体小学校へ集まつてくるのが20人ぐらいの皆さんが集まつていただいたんですが、町会でやつたら50人、60人来てくれるわけですね。お宅の前でやるよということになつたら、なかなかじつと家の中でそのこもってられへんと。どうしてもやっぱり顔を出して、ああ、あそこでやるんやつたら私でも行けるかなということで出て来ていただいて、そういった訓練もやってます。まず集まつてきていただいた方に、何らかの訓練をやっていただくということを中心にしてまして、私も一切口を出しませんし、遠くから見ているだけです。私以外に4人のリーダーがおりまして、それぞれに役割だけを分担して、ここからここまで班は見てあげてねということで、リーダー役をしていただいています。そうするといざ言うたときには、どなたかが出てきていただいたらそれだけのことができるやろということでやつてるんです。今年も11月に予定をしております。皆さん方には何をするかということは一切お知らせはしておりません。ただ、何月の何日何時に震災が起つたからここへ集まつてくださいということで、まず集まつていただく。で、集まつていただいた人の中、顔を見ながら、そしたらバケツリレーしようかとか、あるいは消防から可搬式ポンプ借りてきて放水訓練しようかとか、そういうことで今までやってきました。今年度もマンションの3階から避難者を救出する訓練をやりたいなど、今検討をしておるところです。今日、明日町会の主になつていただいている方々、集まつていただいて、会議をしていただく予定はしておりますけれども、私はその会議にはもう出ません。一切お任せしてやつていただこうと、そういうふうに思っております。やはりやり方によつては、集まつていただける、参加していただける人も増えてくるんじゃないかなと思います。また、今里連合でも先ほどちょっと区長からご紹介いただいたように、夜間訓練もやりました。それから体育館で宿泊を体験していただこうと思って、宿泊訓練もやりました。夏の暑いときでしたので、たまたま、新道パトリいう交流拠点があるんですが、その代表が中村クリニックの院長先生にしていただいています。ほんならわしも地域のことやから協力するわということで、一晩一緒に泊まつていただいて、そういうことでだんだんとそちらのほうも増えてくるかなと思っております。地域に合うた地域の声を聞きながら、やはりこれも進めていかないかんかなど、そんなことも思つております。ありがとうございます。

○清水委員長

今日は、各校下が発表ではございませんので、最前から、ちょっとその自分のところの校下で参加するとかいう意見が出ましたので、今ちょっと岡本さんから話出たんですけれども、今日は目的は、23年度の東成区の行政面から見て今こうこうやってますと。だから今後何かありましたら言つてくださいというのが主でございますのでね。ちょっと返りますけれども、もう時間もありませんので。これ今、8月の27日の大

雨の浸水被害で、これは役所の方が早くから活動していただきました。本当にありがとうございましたと思ふんですけども、これ実際はこんなにうまくいきません。この日、ちょうど言うて悪いけれども、このここの会場で仕分けがありましてね。それでやったわけです。それがもう朝からやって、それから午後は1時半ごろからやったんかな。その後に雨降ったんです。だから我々も役所へ、今日は来ているだろうということで連絡が早かったんです、これ。せやけどいつもはこんなにうまくはいきません。しかも土日でしょ。これ役所休みなんです。だからこれは頭に入れてもうて、今回はよかったですけど、このとおりやれと、これ役所できませんので、それちょっと頭に入れておいてほしいなと思います。恐らくこれが1日、2日ね、ずれてくると。恐らくはこれ東成区の課長でも大阪市内住んでませんし、大体家から来る言うたら1時間ぐらいかかるでしょ。思うんですよ。だけどそんなすぐにはいかんと思いますけどね、今回は敏速に活動していただきましたので、我々は感謝しているんですけどね。早かったでしょ、岡村さん、今回ね。後から24区あります、この対応できたのが東成区だけなんですよ。薬もまいたと。これは前ここでフォーラムやったおかげでございますわ。仕分けやった。

ちょっと話横へ反れましたけど、何かございませんか。災害に関して。どうぞ。

○宮田委員

すみません、宮田と申します。さっきから初めのほうで学校とのつき合いってものすごくあったと思うんですけどもね。私、ことあるごとに思いますのが、東成区って高校ないんですよね。中学校、小学校、幼稚園はちょっと別としまして、中学校も小学校も私立はないんで、大阪市立だけなんですね。11校と中学校が4校。考えてみたらこれみんな区民なんですね。東成区民になってくるわけなんですね。学校に通っている児童・生徒がすべて。それで私いつも思いますのが、学校へ何々してくれって言ったって、まず動いてくれません。だから、PTAを動かすほうが先ちゃんうんかなって思うんです。動かすって言い方は語弊があるかもわかりませんけど、区PTAの単位で、どう言うんですか。区役所さんって窓口がありますでしょ。その辺で何かをね、かみ合わせてやっていったらどうかなって思うんです。PTAが何かやりたいってなりましたら学校も断るわけにはいかないですからね、そっちのほうが早いんと違うかなって思います。

さっきもちょっと意見ありましたように、こういう言い方はちょっと乱暴かもわかりませんけど、防災って言葉も今が旬やと思うんですよ。ですから今すぐ動かなかんと思うんですね。いや、何年かけて小学生が中学生になるのを育ててなんて言ってられないと思うんですね。標語でもね、防災フォーラムの頭にくるのを見てましたね、「いつかは来る」から「必ず来る」、「今にも来る」ってだんだん近づいてくるんですね。ですからやっぱり本当に近づいてると思うので、もっともっと早

い、例えば若い力っていうことになりましたら、早いつき合いと言いますか、やつとくことが大事だと思いますよ。中学生とか小学校高学年っていうのは物すごくあると思うんですけどね。私ら何かイベントするときに、いつも考えますのが、小学生の低学年でも学べるような、例えば防災フォーラムをやったら、低学年には絶対保護者がついてくるんですよ。ということは、一人の子どもに親絶対一人がついてきますから、そこで親の教育言うたらまた極端な言い方ですけど、できると思うし、今の例えば小学校の運動会なんか、幼稚園もそうですけど、見てましたら、子ども一人にね、じいちゃん、ばあちゃんまで4人来るんですわ。ほんなら、ここで何かを起こしたら、例えば防災フォーラムでもやろうとしたときに、人数を集めるって、動員の人数じゃなくて、自然に来る人数で物すごい対象になるんと違うかなって思うんです。という意見なんです。

○清水委員長

ありがとうございました。

○宮田委員

それともう一つだけ。一言あるんですけど。

○清水委員長

はい。

○宮田委員

今度、私が引っ越したマンションで町会入ってないんですよ。町会入ってないということは、全く何にもわかりませんわ。ですから、9月4日に、今度防災フォーラムがあるって。例えば、ここへ出てこられている委員の方たちは物すごく意識があるから、区民だよりも見はると思うんですけど、一般の人そんなん一切見はりやしませんから、全く何にも知らん人っていっぱいいると思うんです。8万人の人口の中にはね。ですから、もっともっと町会の加入率も上げていったほうがいいなって。ちょっと話は違いますけど、思います。どうもすみません。

○清水委員長

宮田さん、太田クラブは片江にいてはったでしょ。

○宮田委員

はい。

○清水委員長

片江にいてはって、ほんで神路のほうに転宅されましたね。そのところが町会に入ってないんですか。

○宮田委員

そうなんです。

○清水委員長

だから不自由すると。連絡がないっていうことですよね。

ありがとうございます。我々助かります。そういうこと言うてもうたら。やっぱり地域振興会に入ろうかなと思っていただけますんでね。ありがとうございます。

大体今日、これ3時ごろまでということでやったんですけれども、いろんな意見を拝聴しまして本当にありがとうございます。まだまだあると思うんですよね。これ。僕でも言いたいことあるんですけどね。もう時間も時間でございますので、一応今日の議題にございました東成区の防災についてということにつきましては、これでちょっともう一時終わらしていただきたいと思うんでございますけど、よろしゅうございますか。何かほかにあります。よろしいですか。

○篠崎委員

一つだけ。

○清水委員長

はい。どうぞ。最後。

○篠崎委員

すみません。また調べておいてほしいんですけど、企業の協力いう意味で、相生中学校の近くの宝栄校下になるんですけど、コクヨの社宅があるんですよね。あんまり住んでおられないように思うので、避難所とかそういうのに貸してもらえるんかな。あんまり入ってはれへんみたいなんですよ。だから企業の協力いう意味で、そういうのを役所さんも知っとくいうのもどうかなって。いつも通るたんびに思うんですけど。

○與那課長

ご指摘の点につきましては、調査をさせていただきたいと思います。

○清水委員長

どうもありがとうございました。これで以上をもちまして、東成区の防災についてという件は終わらせていただきたいと思います。

そのほかに報告事項があるそうでございますので、これは誰がやってくれますの。

○西村課長

すみません。非常に熱心な議論をいただきまして、本当にこれこそ区政会議の本来の趣旨であると思いますので、あと報告事項は簡単にさせていただきたいと思います。

一つは、資料6にございます先週の土曜日に開催いたしました事業仕分けの結果ということでございます。資料6の一番後ろのページに事業仕分けとは何ぞやということが書いてあります。大阪市なり区がやっている事業について、仕分け人と言う方が外部の視点でそもそも必要かということについて議論いただきました。こちらの区政会議のほうからも3名の委員さん来ていただきまして、仕分け人になっていただいて、非常に厳しいご意見とかもいただきました。

その結果、資料6の表面に書かせていただいているような下のほうにちょっと書

いてますが、青色防犯パトロールにつきましては、区民の判定人の方はもう抜本的に検討してくださいと。仕分け人の方は地域主体でもっとやってはどうですかと。あと、地域防犯マップの作成につきましても、抜本的に検討と。仕分け人の方はその地域主体でやってはどうですかと。それから三つ目の清掃のボランティアとまち美化パートナーにつきましては、これも区民判定員の方非常に厳しくて、抜本的に変えてくださいよと。仕分け人の方は要改善ということでした。ただ、生涯学習ルームにつきましては、区民判定員の方も仕分け人も現行どおりで頑張ってやってくださいというふうな結論をいただきました。最後は広報事業、これは私が仕分けを受けたんですけども、要改善、要改善ということで、もっと改善してがんばってやってくれというふうな結果をいただきました。

引き続きまして、もう一つの区の運営方針についての資料、説明でございます。たくさんの資料をつけさせていただいているが、今日のところはご議論いただくことはできませんので、次回区政会議開きましたときのご議論のためにということで、今回は資料をつけさせていただきました。区の運営方針というのはそもそも何かと申しますと、今もう既に始まっているんですが平成23年度に区として、行政としてどんなことをするかということを書かせてもらっています。この中には選択と集中ということでございまして、この中に選ばれていない事業もたくさんございます。ですので、皆様からもたくさんのご意見をいただきて、事業を選んでいくというふうなことをこれからもしていかなければならぬということでございます。

この1年間の運営方針をつくるに当たりましては、大阪市の全体の方針というのも踏まえた上で作成しております、また評価をしなければ全く意味がないので、自らでこの23年度決めたことについて実際できたかできなかつたかということについては、自己評価をいたしまして、またその結果を公表させていただきたいと考えております。また、評価の仕方としましては、この事業をやったことで、全体的によくなつたかどうかというのをアウトカム指標というのがございまして、そちらのほうで評価するとともに、事業がちゃんとできたかどうか。自分たちが思うとおりことを全部こなしたかどうかというのをアウトプットと言うんですけども、その横とも全部みずから評価しまして皆様にお知らせさせていただくというふうな、1年ごとに運営方針を決めて、それを皆様に見ていただくと。それを参考にまた次の24年度の運営方針を決めていくというふうな、そんな流れになっております。

少し運営方針についても説明させていただきたいと思います。様式1というやつですね。この大きな紙を見ていただきたいと思います。平成23年度東成区、区の目標として何をするかと。申しおくれました、この1枚目というのが、後ろについています紙全部を説明するような全体概要となっておりますので、1枚目を説明することで後ろの紙も全部説明できると思います。

区の目標で何を目指すかということで、一つは区民の方と区役所が一緒にまちづくりに積極的に取り組んでいくというふうな目標と、それからやはり安心に安全に暮らしていただけるまちというふうなことを目標にいたしまして、区の使命、右のほうに書いています。どんなことをするかと言いましたら、まちづくりのために積極的な支援をしていくと。それから区役所自身も触れ合いいっぱいのスペースにしていくと。その二つを区の使命と考えております。そのために、区の方針ですね。基本方針としましては、区民による地域運営の仕組みづくりをちゃんとつくっていきますよというふうなことでございます。

全体の概要として、三つございます。経営課題というのが左側に書いてあるんですけども、三つの課題を持っておりまして、一つ目は経営課題の1というのは、区民の方がやはり主役でございますので、区民の方主役でやっていただけるように区役所が何できるかというふうなことを課題にしております。経営課題の2は今度は区民の方と区役所が一緒に何ができるかというふうなことが書いてまして、課題の三つ目は、今度は区役所自身がもっと力をつけるためにどんなことをしようかと。その三つの経営課題について目標を持っております。

主な戦略としまして、1の1としましては、区民が主役のまちづくりでございますので、その主役の方に、主役がどのようにやっているかということで、人的にも物的にも支援できるような基盤づくりをするというのが目標でございます。右のほう見ていただきますと、1の1の1の3、1から3ということで、基盤づくりのために地域活動協議会を立ち上げていきますというふうなことで書かせていただいていまして、この地域活動協議会の中身、どんなことをしていくかというのが、別に新聞記事とかこうつけさせていただいている資料がございますが、これの1ページから5ページをごらんいただけましたらわかるような資料をつけさせていただいております。また、1の1の4ということで、市民協働ネットワークづくりということで、ふれ愛パンジーを中心としまして、さまざまな活動が起こってきますよということで、これについては例えば芸能懇話会でございますとか、歴史懇談会を通じて片江のほうで顕彰板を作成しましたとか、そういうふうなことが新聞記事としてつけさせていただいています。ページで言いますと、6ページから11ページにそのようなことを書かせていただいています。

それから経営課題の2番としまして、区役所と区民の方が一緒に何をしていくかということで、一番大事なのはやっぱり安心安全なまちづくりやということでございますので、地域防災ネットワークでございますとか、今ご議論いただきましたような防災の取り組みですね。フォーラムとかセミナーとか、それから防犯につきましては、防犯の講演会とかひったくり防止カバーとかですね。そのような事業を取り組んでいくということにしております。また、この間事業仕分けで出てきましたような青色防

犯パトロールの活動につきましても、こちらの2の1のほうで取り組んでいくということが書かれています。それから2の2としまして、地域のまちづくり活動として何をするかということで、たくさん書かせていただいているが、自転車利用の適正化ですね。駐輪対策、それから地域福祉のアクションプランということ、地域の福祉についてのこと、それから未来わがまち推進会議ということでの取り組みでございます。これは別の冊子で未来わがまち推進会議のパンフレット等をつけさせていただいている。また、そちらのほうもご確認ください。それから、市民主体の水平連携によるまちづくり支援ということで、例えば日本一長い商店街を目指した取り組みとか、それから平野川での取り組みとか、そのようなこともこし、平成23年度にまたさせていただくというふうなことで書かせていただいている。それからこのような取り組みについては予算をつけてやっておりましたので、かっこ書きでいくらの予算を使っておるというふうなことも記入させていただいている。また24年の運営方針を作成する際には、予算とも連携させて作成していくことになりますので、また皆様のご意見をいただきたいと思います。

以上、簡単になりましたが、区の運営方針の説明でございました。

○清水委員長

はい。どうもありがとうございます。もう時間も過ぎましたので。閉めてもらえますか。

○清野区長

すみません。座ったままお話させていただきます。3時以降ご用事がおありの方もありということで、もう時間過ぎてしまいまして、大変申しわけありません。

今日たくさん意見いただきまして、あれこれ言うのも何ですので、私午前中、中之島で東日本大震災の対策会議というのを行っていまして、市長を中心に関係事務局全員出てまして、今回の8月27日の大雨については、東成区が一番被害が多かったものですから、そこでしゃべらせていただいてきたこと、これは反省、自戒も含めてお話し申し上げましたんで、それ最後にご披露して終わりにしたいと思います。

その前に、防災の問題で一番難しいのが、これ深江先生おっしゃっていただいたんですけども、組織的に例えば役所がボランティアの人もみんな含めて体制整えて何とか助けましょうという、そういう体制をつくれるのも、2日か3日たってからになると思います。それまでの間に自助、共助という形で助け合っていただいて、何とか逃げ延びていただくと。それを逃げ延びていただいたのに対して、例えばそのときに困らないように、例えば食糧とか水とか、それを用意しておくのが役所の仕事やって、大まかに言うとそういう話になるのかなと思います。したがって、いろんな訓練について、やはり各校下で皆さん自主的にやっていただくというのが主題になるので、そうなったときに役所は何をすべきかで、またもういっぺん考えないかんというのが一

つあります。その参考になりましたのが、いつ起きるかわからないというような大雨が今回起きて、大阪市全体で言うと昭和57年以来ぐらいという、そういうお話だそうですが、あのときにまだ十分な対策ができていないというのもあって、大阪の南部地区、東南部というふうに紹介して、東成区もやられてますけど、東南部中心に3万世帯ぐらい浸水してしまったという。そのときの雨の量と余り変わらないんだけれども、市内全体で1,000もいくかいかないかという世帯数の浸水で終わってますので、そういう意味では大きな意味の防災対策にはできているのかもしれません。ただ、具体に会長からご議論ありましたけれども、職員十何人残っておってやっと対応できたことなんですけれども、それでもやはり今何がわかってきてているか、これ私自身がまとめて報告したんですけども、被害を受けた区域っていうのは非常に限られている。なおかつゲリラ的なので、全体像を把握するのがかなり時間かかっているなというのが一つする。もう一つは、さっき最初に申し上げたみたいに、57年からもっと経ってますけれども、清水会長のところ行って、お聞きして、最近いつごろ危ないことあったのかって、例えば片江がつかったん10年前ぐらいやなっておっしゃって、地図を見せていただいたんですけど、そういう意味で10年ぶりくらいの浸水であったので、極端に言うと、後ほどまとめますけど、初めて経験する連長さんとか、初めて経験する局の職員がたくさんおったというのが事実やったなと思ってます。三つ目が発生が土曜日の夕方、役所のほうはそういう都合でたくさん人はいるけど、よそに連絡してもなかなか連絡がつかないということもあります。そういうことを前提に課題として、途中でお話てきてたんですけども、例えばきょう小川会長、清水会長お出ましいただいて、申しわけございません、こんな言い方したら失礼かもしれませんけれども、防災に対する認識っていうのがやっぱり町会、連長さんでもかなり違われると思うんです。わかっておられる方は先にあれせい、これせい、何で無線つけてへんねんいう、そういう話になりますし、例えば小川会長のところでも逆に言うと各町会が自分たちで防災訓練いつもやってはるとかっていう、そういう町会があるのも存じ上げてますので、だからそういう話もこれから区役所のほうとしては、区内全域がよくなるためにということで考えていかなければならぬのかなというふうに思っています。もう一つは、先ほどお話あった、僕が申し上げたみたいに、関係者間の連絡にとまどっていると、地域の人が困ってしまうというか、役所のほうが本来的にやらないかんことがある。なかなか到達できないと。これが逆に大阪市の局のほうが今日の会議で市長に怒られて反省をしていました。それから三つ目は、これご指摘を受けて非常に難しいなと思う課題なんですけれども、例えばごみを片づけなければならない。それからやっぱりそういうものも水につかってますので、衛生上消毒をしなければならない。これが通常のご家庭であれば、申しわけないけど待っていただけるんですけども、例えば商店街、あした商売あるねんというような方にとっては役所の言うてること待

ってられるかという話もあります。それをどう考えていくかって、一つの大きな今回課題かなって私自身も思っています。

次が、これが全然わからなかつたんですけれども、被害を受けられた方を補償しなければならないんですけれども、ご見舞を差し上げたり、時代が変わったなということで、床上床下の認識が違うんですね。例えばここにコンビニがありました。ここに普通のお家がありました。次が工場兼住宅があります。例えば同じ高さまで来ていても、コンビニは床上で、普通のご自宅はたたきがあつたりしたら床下で、そういう意味でやっぱり時代の違いというのを役所のほうの対応でもいろいろあるなと。やはり被害をびっちり、後で、これ後の話です。後で補償させていただこうとすると、そういうこともあるのかなというので、10年ぶりか20年ぶりかはわかりませんけれども、すごく役所のほうが勉強させていただきました。さっきから出てますように、阪神淡路から何年かたって、東日本大震災というのがありました。申しわけありません、役所のほう昔ほどP T Aと仲よくおつき合いしてないのは事実ですし、そうしてたら、区内にこういう災害があった。ものを考えるのには非常にいい機会で、今すぐ動けることは今すぐ動いていって、時間かけなければならないものも当然ありますので、それは諦めずに粘り強くがんばってまいりますので、今日みたいな意見、また機会をつくらせていただきますので、あとさまざまな場面でお時間をちょうだいできればありがたいと思います。長い話を申し上げました。申しわけありません。本日はありがとうございました。

○西村課長

清水委員長はじめ委員の皆様に熱心のご議論いただきまして、本当にありがとうございました。本日の内容につきましては、後日東成区のホームページで公開いたします。次回以降も活発な意見がかわされますように、よろしくお願ひ申し上げます。

最後に次回の区政会議でございますが、また日程が決まりましたら改めてお知らせさせていただきますので、ご協力いただきますように、よろしくお願ひいたします。

本日はお疲れさまでございました。これをもちまして第1回東成区区政会議を終了いたします。どうぞお気をつけてお帰りください。どうもありがとうございました。